

# 地域医療に関するアンケート

**1** 「病気になった時」、地域医療で困ったことはありませんか。(あなたや家族、お友達) 困っていることをお書きください。

.....

.....

.....

.....

**2** 医療にたいして一番不安に思っていることはどのような事ですか。

.....

.....

.....

.....

**3** あなたが望む地域医療とはどのようなものですか？ また、安心な地域医療を守るために何が必要とお考えですか。

.....

.....

.....

.....

-----切り取り線-----

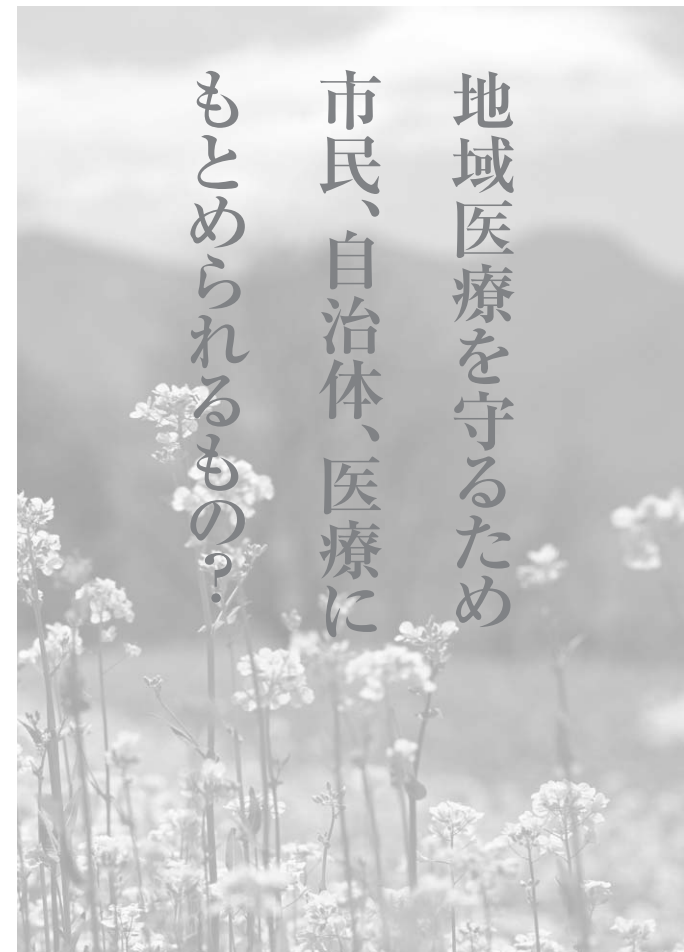
「産科・小児科の減少で安心して子どもを産み育てられない」「救急医療体制の不足で受け入れを拒否される」「入院期間の制限のため短期間で病院を転々としなければならない」など……。



「朝日新聞」1月14日付

連日、新聞・テレビで報道されるように、今、日本の医療は深刻な危機を迎えています。

「医療崩壊」に悲鳴の声



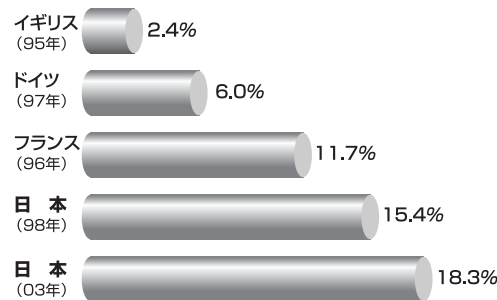
地域医療を守るため  
市民、自治体、医療に  
もとめられるもの？

「医者にかかれない」

医療保険料の値上げで保険料が払えない。窓口負担増で、病気になることも病院にかかれない方が増えています。

## 世界的に突出した日本の窓口負担率

公的医療保険制度における患者負担の割合



(出所) 厚生省調査より作成

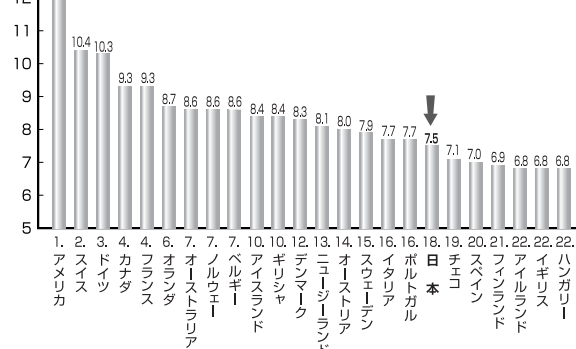
医療機関も経営難に

医療機関でも、相次ぐ診療報酬の引き下げで経営が大変になっています。医師、看護師不足で、診療科の閉鎖、ベッドの削減、果ては病院を廃止しなければならぬ状況に追い込まれています。

切り取り線

## 日本の医療費は高いのでしょうか？

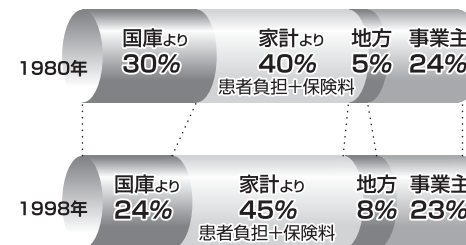
医療費 / 国内総生産 (GDP) の国際比較 (%) [1998年]



(出所) OECD 「Health Data 2000」より作成

## 18年間で6%引き下げられた医療費への国庫負担率

国民医療費の負担別構成比



(出所) 厚生省「国民医療費」各年度

どうしようも考えまじょう

このような医療崩壊が深刻な今、安心して健康に暮らすための地域医療とはどのようなものなのか？ 必要な地域医療を守るために何が必要なのか？ みなさんとともに考えたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

医師、看護師は過重労働と医療事故への不安などで身も心も疲れはてています。

医師、看護師は過重労働

## 医療のことなど市政相談は、日本共産党吹田市会議員団へ



倉沢さとし そろり邦雄 山根たかし 村口はじめ 竹村 博之 塩見みゆき 柿原 まき 玉井みき子

## これまで日本共産党吹田市議団が主催したシンポジウム

- |          |                       |           |                       |
|----------|-----------------------|-----------|-----------------------|
| 1997年 7月 | 吹田操車場跡地利用を考えるシンポジウム   | 2001年 6月  | 吹田の商工振興を考えるシンポジウム     |
| 1998年 9月 | 高齢者の福祉と介護を考えるシンポジウム   | 2002年 10月 | 吹田の街づくりを考えるシンポジウム     |
| 10月      | スポーツ・シンポジウム           | 2003年 9月  | ごみ問題を考えるシンポジウム        |
| 1999年 9月 | 「男女平等の促進」を求める吹田シンポジウム | 2004年 3月  | 文化シンポジウム              |
| 2000年 3月 | マンション・シンポジウム          | 2005年 4月  | 子育てと子どもの安全を考えるシンポジウム  |
| 11月      | 子育て・少子化問題シンポジウム       | 2006年 7月  | 「格差社会と公的責任」を考えるシンポジウム |
| 12月      | 障害者施策を考えるシンポジウム       |           |                       |